



先生の工夫・お取り組みを教えてください
ぜひ、先生や学校でしているLGBTQに関する取り組みを、教えていただけませんか？先生の取り組みを他の学校にも伝えることで、国内で好事例を広めていきたいと考えています。
https://jp.surveymonkey.com/r/attk_safeschool

制作：認定特定非営利活動法人ReBit



LGBTQ/SOGIEインクルーシブな 学校・学級づくりハンドブック

ALLY TEACHER'S
TOOL KIT



はじめに



『LGBTQ/SOGIE インクルーシブな学校・学級づくりハンドブック』は、多様な性のあり方を包摂した学校づくりのための実践集です。

本ハンドブックの作成は、学校の先生たち 200 人の学校・学級づくりに関する実践と、LGBTQ ユース 2670 名が回答してくださった「LGBTQ 子ども・若者調査 2022」の声を元に制作しました。制作にあたりお力添えをいただいたみなさまに、心より御礼申し上げます。

近年、LGBTQ を取り巻く状況は大きく変化しています。2023 年 6 月には、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が制定され、学校の設置者及び学校は LGBTQ に関する教育・啓発の推進、教育環境の整備、相談機会の確保が努力義務となりました。さらに、2024 年度からは、小学校保健体育の全ての教科書に LGBTQ や多様な性についての記載が加えられ、学校教育における取り組みの重要性が一層高まっています。

このような変化の中で、学校や教育委員会のみなさまからは「LGBTQ への取り組みをどのように進めればよいか」といったご相談が増えていきます。だからこそ、これまで全国で積み重ねられてきた学校や教育委員会のみなさまの実践を共有し、全国の学校で LGBTQ の子どもたちも安心して過ごせる環境が整うことを願い、本資料を制作しました。

本ハンドブックを手にとってくださったみなさま方が、LGBTQ の児童生徒にとっても安心・安全な学校づくりを進めてくださることを、心より感謝しています。また、教職員向けの無料オンライン相談会や勉強会も随時開催していますので、実践の中でお困りのことがございましたら、ぜひご相談・ご連絡いただけますと幸いです。

認定特定非営利活動法人 ReBit 一同



LGBTQ/SOGIE インクルーシブな学校・学級づくりハンドブック

目次



1. 学校で取り組む必要性 P3
 - 1) LGBTQ とは？ P3
 - 2) LGBTQ の児童・生徒や、学校の状況 P5
 - 3) 行政などの、学校に関する取り組み P8
2. LGBTQ/SOGIE を包摂した学校・学級づくりの実践 P9
 - 1) 声かけのなかでのジェンダーバイアス（性別規範の決めつけ） P9
 - 2) 名簿・席順・持ち物などの、不要な性別わけ P11
 - 3) 制服・校則 P13
 - 4) 体育・プール P15
 - 5) クラブ活動や部活動・委員会や係活動 P17
 - 6) 行事（体育祭・文化祭・合唱コンクール・入学式・卒業式等） P19
 - 7) 宿泊を伴う行事（合宿・修学旅行等） P21
 - 8) トイレ P23
 - 9) 健康診断 P25
 - 10) キャリア教育・進路指導 P27
 - 11) 入学前・卒業後の対応 P29
3. LGBTQ/SOGIE も安心な学校環境と風土づくりのために P31
 - 1) 先生が学ぶ P31
 - 2) 学校の取り組みを教職員間で検討・実施する P32
 - 3) 本や掲示物・配布物で情報を提供する P33
 - 4) 日々の授業やお便りで取り上げる P34
 - 5) 授業やホームルーム等で、多様な性について教える P35
 - 6) 児童生徒たちといっしょに風土をつくる P36
4. 認定 NPO 法人 ReBit ができること P37

1. 学校で取り組む必要性

1) LGBTQ とは？



■ 多様な性とは

私たち一人ひとりの性のあり方のことを「セクシュアリティ」といいます。セクシュアリティは主にこの4つの要素から成り立ちます。

法律上の性	戸籍など、法律上で割り当てられた性別。日本では、男・女の2通り
性的指向 (Sexual Orientation)	どの性別を恋愛の対象とするか / しないか
性自認 (Gender Identity)	自分の性別をどのように捉えているか
性表現 (Gender Expression)	どのような服装、振る舞い、言葉遣いなどをするか

■ SOGI とは

人それぞれの、性的指向と性自認お組み合わせのことを「SOGI (ソジ)」といいます。性表現を加えて「SOGIE (ソジー)」、身体の性的特徴 (Sex Characteristics) を加えて「SOGIESC (ソジエスク)」ということもあります。誰もがもつセクシュアリティの多様性を尊重する言葉として国際的にも使用されています。

■ 様々なセクシュアリティ

シスジェンダーかつヘテロセクシュアルの人は「セクシュアルマジョリティ」にあたります。そうではない人は「セクシュアルマイノリティ」にあたります。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの頭文字をとって「LGBTQ」ということもあります。LGBTQ の人たちは約3～10% いるといわれています。^{*1}

^{*1}「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム (2019)「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかなるアンケート」ではLGBが2.7%、Tが0.7%、「アセクシュアル」「決めたくない/決めていない」を含めると8.2%。日本労働組合総連合会 (2016)「LGBTに関する職場の意識調査」ではLGBT等 (性的マイノリティ) 当事者が8.0%。株式会社LGBT総合研究所 (2016)「LGBTに関する意識調査」ではLGBTが5.9%、LGBTを含めたセクシュアルマイノリティが8.0%。電通ダイバーシティ・ラボ (2018)「LGBT調査2018」ではLGBTを含む性的少数者 (セクシュアル・マイノリティ) が8.9%。日高庸晴・三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」 (2018)「多様な性と生活についてのアンケート調査」ではLGBTQが10.0%。岩手県高校教育研究会学校保健部会・いわて思春期研究会 (2013)「高校生の生と性に関する調査」ではセクシュアルマイノリティが10.1%。

■ シスジェンダー

性自認と、出生時に割り当てられた性別が一致する人。



■ トランスジェンダー

性自認と、出生時に割り当てられた性別が異なる人。



■ Xジェンダー

トランスジェンダーのうち、性自認が男女どちらかではないなどという人。



■ ヘテロセクシュアル

性自認が女性で、男性を好きになる人。性自認が男性で、女性を好きになる人。



■ レズビアン

性自認が女性で、女性を好きになる人。



■ ゲイ

性自認が男性で、男性を好きになる人。



■ バイセクシュアル

性自認に関わらず、女性も男性も好きになる人。



■ パンセクシュアル

性自認に関わらず、好きになる相手の性別を問わない人。



■ アロマンティック / アセクシュアル

性自認に関わらず、他者に恋愛感情 / 性愛感情を抱かない人。



■ クエスチョニング

性のあり方を決めない人、決めたくない人。



2) LGBTQ の児童・生徒や、学校の状況



■ LGBTQ の児童生徒は、学校・家庭での困難が多く、不登校や自死につながっています

LGBTQ の子どもや若者は、学校や家庭で多くの困難に直面し、その結果、不登校や自死につながることも少なくありません。調査によると、LGBTQ の 68%^{*1} が小学校から高校の間にいじめを経験し、さらに、過去 1 年間で LGBTQ の学生の 70% が学校でセクシュアリティに由来する困難やハラスメントを経験したといえます。

また、LGBTQ の子どもや若者の 89% が保護者との関係の中でセクシュアリティに由来した困難を経験。現状、学校も家も安心できる環境でない場合が多いです。一方で、LGBTQ の子どもや若者の 93% が教職員に対して、91% が保護者に対して、自身のセクシュアリティについて安心して話せないと感じていて、身近に相談できる大人がいない状況に置かれています。

こうした環境は、高い不登校率や希死念慮の高さにもつながっています。不登校を経験した LGBTQ の中学生は 22% (全国調査比 5.4 倍) にのぼります。また、過去 1 年間で、10 代の LGBTQ の約 2 人に 1 人が希死念慮を抱え、14% が自殺未遂をしています。この深刻な状況に対し、教職員や保護者の理解を促進し、安心できる環境を整えることが急務となっています^{*2}。



LGBTQ の子ども若者たちの声

毎日服を脱がされるいじめを受けていたが誰も助けてくれなかった。体育の授業で着替えをしなかったので教員に無理やり脱がされた。(20 代・出生時に割り当てられた性は答えたくない、性自認は女性、パンセクシュアル)

10 代のときに先生たちに理解がなく、「思春期の一時的な気の迷い」とか「あんたはおかしい」とか言われて辛かった。最終的に不登校になって自傷行為もしていた。(20 代・トランスジェンダー男性、パンセクシュアル・岡山県)

自認する性で生きられないことが死にたくなくらい辛いことだと分かってほしい。何気ない言葉に沢山傷ついているのを知ってほしい、気づいてほしい。(10 代・FtX、パンセクシュアル・埼玉県)

親に「お前そっちじゃないよな」など探りを入れられる度に「そんなわけない」と嘘をついて笑うことが辛かった。家の中でさえ、自分が自分でいられないことが辛かった。(10 代・MtX、性的指向は男性・富山県)

■ 全ての子どもにとって、多様な性に関する教育は大切です

LGBTQ の児童生徒に限らず、多くの児童生徒が日常の中で性の多様性を尊重しない言動を見聞きしています。調査によると、小学生の 63%、中学生の 78% が、そのような言動を見聞きしたと回答しています。一方で、「今回の授業まで LGBTQ や性的マイノリティという言葉を知らなかった」と答えた児童生徒は、小学生で 63%、中学生で 42% にのぼりました。このことから、子どもたちは性の多様性を尊重しない言動には日常的に触れているものの、正しい知識を学ぶ機会が限られている現状が明らかになっています。学校で性の多様性について学ぶことは、LGBTQ への差別や偏見を減らし、自己受容や他者理解を促進する上でも重要であると考えられます。

また、小学生の 4.4%、中学生の 8.8%、高校生の 10.9% が、友人や周囲の人から LGBTQ であることをカミングアウトされたり、性のあり方について相談を受けた経験があると回答しています。これをクラスの平均人数（小学校 27 人、中学校 32 人）に当てはめると、小学生では 1 クラスに 1 人以上、中学生では 1 クラスに約 3 人が、こうした経験をしていると推測されます^{*3}。

このことから、LGBTQ の子どもたちへの対応だけでは十分ではなく、すべての子どもたちが性の多様性について学べる機会と、子どもたちが安心して相談できる場所や大人の存在が不可欠であると言えます。

^{*1} いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン（2014）平成 25 年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業「LGBT の学校生活に関する実態調査（2013）」^{*2} 認定 NPO 法人 ReBit（2022）「LGBTQ 子ども・若者調査 2022」

^{*3} 認定 NPO 法人 ReBit（2023）「学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査」



授業後の子どもたちの声

今までオカマやオネエなどの言葉を家族からきいたりYouTubeを見たうえで声に出していった。悪口だと知って、気をつけようと思いました。(小学生)

私は家族からカミングアウトをされたことがあります。その時は、優しく声をかけることができませんでした。授業でたくさんの事を学び、すくわれました。(中学生)

TikTokでLGBTQのことが出てきて「へんだな〜」みたいに軽く思ってたけど、それは間違いで、今は「みんなちがってあたりまえ」みたいに思う。これからいろんな人にあうと思うから「みんなちがってあたりまえ」を意識して生活していきたい。(小学生)

女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしくしないとだめなのかな？と思っていました。しかし、この授業を受けて、女らしく、男らしくではなく「自分らしく」でいいんだと思ひ、とても気が楽になりました。その人らしさを大事にしていきたいです。(中学生)



研修後の先生たちの声

「もっと女らしくしたほうがいい」と他の教員が児童に対して言っていたのですが、私は何も言えませんでした。子どもたちが安心して学校生活を送るために、教職員の知識が不可欠です。それにより、日常的な声かけも変わると思います。(小学校教員)

過去に生徒からカミングアウトされた際、保護者や他の教員に共有していいものだと思います、勝手に共有してしまっただ。今後は気をつけたい。(中学校教員)

3) 行政などの、学校に関する取り組み



学校で、LGBTQ に関して教育・啓発、教育環境の整備、相談機会の確保を行う重要性を定めた様々な法律・指針等があります。また、自治体・教育委員会、教科書会社の取り組みも進んでいます。

■ 国の取り組み

- ・2015年に文部科学省は、全国の小中高校及び特別支援学校に、性的マイノリティの子どもへの対応配慮を求める通達を出し、2016年には教職員向け周知資料を公開しました。
- ・2017年に文部科学省は、「いじめ防止対策推進法」に基づく「いじめの防止等のための基本的な方針」を改定し、「いじめを防止するため、性同一性障害や性的指向・性自認について、教職員への正しい理解の促進や、学校として必要な対応について周知する」ことが記載されました。
- ・2022年に文部科学省は、改訂版「生徒指導提要」に「性的マイノリティに関する課題と対応」という項目を設け、性的マイノリティとされる児童生徒が相談しやすい環境と支援体制構築の必要性が記載されました。
- ・2023年に「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（通称：LGBT理解増進法）」が制定され、学校の設置者及び学校に対してLGBTQに関する教育・啓発の推進、教育環境の整備、相談機会の確保が努力義務として定められました。

(参考) 文部科学省「性的マイノリティに関する施策」サイト
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinken/sankosiryo/1415166_00004.html

■ 教科書への掲載

2018年度から高校教、2019年度から中学校、2020年度からは小学校の教科書の一部に、LGBTQや多様な性についての記載が始まりました。さらに、2024年度からは小学校の全社の保健体育教科書に、2025年度からは中学校の全社の道徳教科書にLGBTQや多様な性に関する内容が記載されます。

■ 制服に関する取り組み

性別に関係なく制服を選べる学校や教育委員会が増えています。この取り組みは、トランスジェンダーの生徒への配慮にとどまらず、寒さ対策や動きやすさの観点からスラックスを選びたい女子生徒など、より多くの生徒にとって選択肢を広げる重要な施策となっています。

2. LGBTQ/SOGIE を包摂した学校・学級づくりの実践

1) 声かけのなかでのジェンダーバイアス（性別規範の決めつけ）



先生からの声かけ等に、無意識であってもジェンダーバイアスが含まれていることがあります。そのことは、全ての児童生徒にとって性別役割の押し付けにつながります。また、トランスジェンダーの児童生徒にとっては望まない性別で扱われることにつながります。先生自身が、自分が無意識でもっているバイアス（アンコンシャス・バイアス）を点検し、性別役割を決めつけている場面がないか考えてみましょう。



LGBTQ の子ども若者たちの声

先生が私のことを「〇〇ちゃん」と呼ぶのが嫌ですが、カミングアウトをまだしていないから嫌だと伝えたらどう思われるかわからなくて怖い。とにかく私の学校の先生は人のことを「くん」「ちゃん」で呼ぶから、それをまずなくしてほしい、不必要だと思う。（ノンバイナリー、性的指向は男性・10代・東京都）

どんなに親身になってくれる先生でも、「女の子だから」「男だから」といったジェンダーロールを押し付けてくることがある。抱いていた好意や尊敬の念がスッと冷える感覚になる。（出生時に割り当てられた性別は女性、クエスチョニング、性的指向は男性・20代・大阪府）

小学4年生の頃、女子なのに一人称が「ぼく」であったことを注意された。それ以来、誤魔化して生きていた。あの時の先生がいなければ、もっと早くに生きやすくなっていたと思う。（トランスジェンダー男性、性的指向は決めていない・20代・広島県）

女子は家庭科、男子は技術科で分けられ、ジェンダーロールが押し付けられて、嫌だった。（FtX、性的指向は決めていない/わからない20代・群馬県）

力仕事などで「男子手伝って」といった声かけをされることが辛い。（FtX、アロマンティック/アセクシュアル・20代・広島県）



先生たちの実践

力仕事は「男の子」ではなく、「力持ちの人」に頼むようにして、高い場所の仕事は、「背の高い人」に頼むようにしています。（東京都・高校）

「ぼく」「わたし」などの一人称は、大人になったらみんな「わたし」と使うから、男の子でも使ってもいいんだよと説明しました。（大阪府・小学校）

呼称は「さん」で統一しました。お父さんお母さんではなく、「保護者・お家の人」としています。（静岡県・小学校）

「男子から」「女子だけ」のように、性別でクラスを分ける呼び方をしないようにしています。（東京都・小学校）

男子校に勤務していた際に、「男なんだから」などの男性ジェンダーに関するステレオタイプな話を生徒や同僚がしていたら、止めるように心がけていました。（東京都・高校）

ちがいやそれぞれの好みが表示しやすいように、身近な例（ピンク色が好きなのは性別には関係ないことなど）を挙げて語るようにしています。（大阪府・小学校）

名前を何と呼ばれたいか、本人に確認して呼んでいます。（千葉県・小学校）

今日からできること

- ☑ 児童生徒を呼ぶときに、全員を「さん」で統一するか、本人に呼ばれたい名前を聞く（くん・ちゃん・さん等の指定も含む）。
- ☑ お父さん・お母さんではなく「保護者の方・ご家族」、お兄ちゃん・お姉ちゃんではなく「ごきょうだい・ご家族」等の包摂的な呼称を選ぶ。
- ☑ 「男子～」「女子～」等、性別でわけない声かけを工夫する。（例：力持ちの人手伝って等）



2) 名簿・席順・持ち物などの、不要な性別わけ



学校のなかでは男女でわかれているものがありますが、そのなかには男女でわけなくてもいいものもあります。トランスジェンダーの児童生徒にとっては性別で分けられる度に望まない性別で扱われることにつながりかねません。また、全ての児童生徒にとって、不要な男女わけは本人の選択肢を狭めることにも繋がりがねません。どの性別わけがいるか・いないか、性別以外のわけ方ができるか、考えてみましょう。



LGBTQ の子ども若者たちの声

小学校に入っすぐ、先生が面談で親に「今彼女の持ち物はすべて男児用なので、なるべくこれらを使わないようにしてください」と注意をしていた。(FtX、性的指向は女性・20代・千葉県)

学校のオンラインアンケート等で、男性か女性しか選べなかった。(MtX、性的指向は決めていない・20代・大阪府)

出席番号を男女で分けて決められることが辛かった(トランスジェンダー男性、バイセクシュアル・10代・岐阜県)

性別によって席の場所を限定されることが辛かった。(FtX、アロマンティック / アセクシュアル・10代・福井県)

身体の性別によって勝手に男性のグループに入れられることが辛かった。(MtX、性的指向は男性・20代・大阪府)



先生たちの実践

クラスを二分する時は、性別ではなく、出席番号が偶数か奇数や、座席が窓側か廊下側か等で分けています。また、席順表の男女別表記をやめました。また、学用品の案内を男女別で行うことをやめました。(東京都・小学校)

アンケートで性別があるものは回答しなくていいことや、自分の思う性別を選びたかったら選んでいいよという声かけをしています。そもそも、この質問いらないよねということも伝えています。(三重県・中学校)

男女混合名簿にして、整列も混合名簿順にしています。(和歌山県・小学校)

男女問わず使えるデザインの学校用品を多く取り扱っている業者を選んでいきます。(大阪府・小学校)

男子は青、女子はピンクという色分けは使わないようにしています。席替えの際に、男子席・女子席をつくらないようにしました。(大阪府・小学校)

市から全員に配布される黄色い帽子を、男子がキャップ型、女子がハット型と決めずに、好きな方を選べるようにしています。(埼玉県・小学校)

今日からできること

- ✓ 席順や整列・班わけ等を、性別以外でもわかるように工夫する。
- ✓ 男女混合名簿にする。名簿を男女で色わけしない。
- ✓ 日頃の配布物・掲示物等も、好きな色を選べるようにする。
- ✓ 性別で色等がわかれていない / もしくはたくさんの選択肢がある学校用品の販売業者を積極的に選ぶ。



3) 制服・校則



制服が性別で指定されていたり、校則に性別ごとの規定が設けられている場合があります。特に、トランスジェンダーの児童生徒にとってはその度に望まない性別で扱われることにつながりかねません。すべての生徒が性別によらず制服を選べるようにし、校則の不要な性別わけを見直す等の施策ができます。



LGBTQ の子ども若者たちの声

制服を着ることが出来なくなり、高校を中退しました。(20代・FtX、パンセクシュアル・群馬県)

スラックスが選べるけれど、「女子用スラックス」と「男子用スラックス」とが分けられていることが辛い。(FtX、アロマンティック / アセクシュアル・10代・福井県)

中学時代に女の子になりたいくて髪を伸ばして、結構伸びてきたので結んで過ごしていたら、「男は髪を結ぶな」と、先生にみんながいる前で呼ばれて怒られた。(トランスジェンダー女性、ヘテロセクシュアル・20代・東京都)

校則で髪を切るのがすごく嫌だった。なぜ女子は縛るだけなのに、男子は切らないといけないのか、理由が本当に理解できなくて苦痛だった。(出生時に割り当てられた性は男性、クエスチョニング、性的指向は男性・20代・沖縄県)

僕の学校の制服はこれまでは女子がセーラー服、男子は学ランでした。僕は今中学3年生で、今年の1年生からは女子もスラックスが選べるようになりましたが、女子と男子でスラックスの形が違おうので女子だとひと目でわかってしまいます。だからスラックスも買えず、スカートを履く度に死にたくなります。(FtX、バイセクシュアル・10代・静岡県)



先生たちの実践

制服はA・Bと名付け、「男子用」「女子用」とはせず、髪型の校則は男女共通で「清潔」が基本です。(埼玉県・中学校)

制服はスカート・スラックス、ネクタイ・リボン、どれを選んでもよいとしています。(東京都・高校)

ネクタイやリボンを廃止し、ポロシャツは男女共通のデザインにしました。(東京都・中学校)

男女でセーターの色がわかれていましたが、どちらを購入しても良いようにしました。(東京都・高校)

学生服・セーラー服をやめ、ブレザーにして、男女の差異をなくした上で、どちらのタイプを選んでよいようにしました。また、服装に関して性別による指導項目をなくし、男女統一としました。(新潟県・中学校)

制服が1型～3型という名前に変わり、男女に関わらず、スカート、すっきりしたスラックス、ゆったりしたスラックスになりました。(福岡県・中学校)

今日からできること

- ☒ 制服に関する相談ができることを伝える。相談があったらできる限り希望に添えるように対応する。
- ☒ すべての生徒が性別によらず制服を選べるようにする。また、男子用の制服・女子用の制服ではなく、1型・2型等のように名前を工夫する。
- ☒ 髪の長さ等、性別でわかれた校則を見直す。



4) 体育・プール



体育やプールの授業では、性別に関する困りごとが生じる場面が多いです。授業の選択種目や更衣室、ジャージ・体操着・水着などが性別によって分けられ、性自認と異なる扱いを受けることがあります。特に水着は露出が高く、トランスジェンダーの児童生徒にとって大きな負担となることがあります。その結果、体育やプールの授業に参加できなくなったり、不登校や退学のきっかけとなる事例もあります。誰もが安心して体育やプールに参加できる環境づくりについて考えてみましょう。



LGBTQ の子ども若者たちの声

女子生徒用のジャージを着なければいけなかったことや、体育などの授業で女子として扱われる事が辛かった。(FtX、アロマンティック / アセクシュアル・10代・千葉県)

体育の授業でプールに入るとき、女性の水着を着るのが嫌で仕方なく、いつも理由をつけて見学していたが、先生から叱責を受け、結局水着を着てプールに入ることになった時、泣いてしまった。みんなの前で泣いたことも、「なんで泣くの？」と聞かれて、本当のことが言えずに「水が苦手だから」と嘘をついたことも、すべてが辛かった。(FtX、性的指向は女性・20代・千葉県)

先生に性別違和があることを理解してもらえず、プールの授業が辛くて受けられずそのまま退学になった。(MtX、性的指向は決めてない・20代・東京都)

小中高と着替えが苦痛だった。どうして生まれた時の性別が同じだからみんな同じスペースで着替えなくてはいけないのか。学校の構造上難しいのかもしれないが、本当はひとりずつ着替えさせてほしい。(出生時の性別は女性、クエスチョニング、パンセクシュアル・20代・東京都)



先生たちの実践

体操着は男女同タイプにし、プールを見学する場合はレポート提出による評価としています。(福岡県・中学校)

更衣室に個室になれるようなついたてを設置しました。申し出があれば保健室や別室での更衣も可能に。(大阪府・小学校)

男女別の保健・体育授業から合同型の教育にしました。また、男女別更衣室を増築改築し完全個室型の着替えスペースを確保し、保健室を改築し希望する生徒がいれば個別に着替えができるスペースに。プール授業に参加を希望しない生徒への授業評価としてレポート提出による評価としました。(千葉県・高校)

水着は自由なものを着用できるため、各々がスパッツタイプ、長袖タイプのものなどを着用しています。(千葉県・小学校)

水着を、男子もセパレートタイプ(上半身がタンクトップ型になっている水着)を選ぶようにして、保護者あての手紙にも明記しました。(埼玉県・小学校)

今日からできること

- ☒ 体育の授業や着替えに関する相談ができることを伝える。相談があったらできる限り希望に添えるように対応する。
- ☒ 体操着やジャージを性別でわけず同じデザインにする。
- ☒ 性別によらず、露出の少ない水着を選ぶようにし、全体に周知する。
- ☒ プール等体育の授業を見学する場合は、レポート提出による評価とする。また、そのような対応ができることを全体に周知する。
- ☒ 更衣室のなかにカーテンや仕切りを設置し、プライバシーを確保する。
- ☒ 完全個室型の着替えスペースをつくる。

5) クラブ活動や部活動・委員会や係活動



クラブ活動や部活動では、男子部・女子部と分かれていたり、性別によって選択できる種目や役割に差があったり、ユニフォームが異なっていたりすることがあります。そのため、参加を諦めざるを得ない子どもたちもいます。また、委員会や係活動でも、男女で人数や役割が決められている場合があります。不要な性別わけがないか点検し、誰もが自由に選択できる環境づくりについて考えてみましょう。



LGBTQ の子ども若者たちの声

スポーツが大好きだったけど、男子〇〇部・女子〇〇部となるのが辛すぎて、運動部を辞めて文化部に。(トランスジェンダー男性、パンセクシュアル・30代・東京都)

トランスジェンダーであることを伝えていたが、部活動は男子・女子のどちらに入るのかが問題になった。(トランスジェンダー男性、ヘテロセクシュアル・10代・埼玉県)

部活動で、技術やプレーなどにも「男らしさ」を求められて、辛かった。(MtX、パンセクシュアル・30代・山梨県)

委員会などが「女子〇人」「男子〇人」となっていることが辛かった。(FtX、アロマンティック / アセクシュアル・10代・福岡県)

部活の合宿行事に参加することがしんどくて、部活を辞めた。(トランスジェンダー男性、ヘテロセクシュアル・20代・福岡県)



先生たちの実践

部活の競技規則として男女の区別がない場合は、入部の際に男女の区別をしていません。(神奈川県・中学校)

部活のユニフォームを男女同一タイプのものにした。(大阪府・高校)

委員会や係を決める際、「保健委員は女子」「各係は男女1名ずつ」等の男女指定をやめました。また、「委員長が男子の場合、副委員長は女子」等の決め方をやめました。(石川県・高校)

運動会の「接待係」(来賓にお茶出しをする)が女子児童だけだったことに對し、性別問わず誰が担ってもよいことを積極的に説明することを職員会議で提案しました。(埼玉県・小学校)

定期演奏会会場アナウンスは、女子から選ぶのではなく、希望者とし性別は問わないようにしました。(福島県・高校)

行事準備の係の仕事を男女別(会場準備は男子、受付は女子等)ではなく、希望制にしました。(千葉県・小学校)

今日からできること

- ☑ クラブ活動や部活動・委員会や係活動に関する相談ができることを伝える。相談があったらできる限り希望に添えるように対応する。
- ☑ 委員会や係の性別わけを見直す。規定はないが慣習として性別でわけられているものは、その必要がないことを明示する。
- ☑ クラブ活動・部活動で不要な性別わけがないか、点検する。また、ユニフォームを性別でわけないタイプにできないか検討する。
- ☑ 男女でわけられたクラブ活動・部活動に、法律上の性別が異なる生徒からの入部希望があった際の対応を事前に検討する。

6) 行事（体育祭・文化祭・合唱コンクール・入学式・卒業式等）



学校行事でも、不要な性別わけは少なくありません。また、行事は児童生徒だけでなく、保護者や地域の方も広く参加することから、誰もが安心して参加できる工夫が大切です。



LGBTQ の子ども若者たちの声

合唱コンクールで男女でわけられて歌うのが学校生活で一番辛かった（トランスジェンダー男性、パンセクシュアル・20代・宮城県）

運動会のフォークダンスで男女ペアにならないといけなくて、辛かった。（FtX、バイセクシュアル・20代・大阪府）

文化祭の衣装が性別でわかれていて、好きな方を選択することが出来ず、苦しかった。（FtX、パンセクシュアル・10代・埼玉県）

中学の時、運動会で強制的に組体操をさせられた。しかも上半身裸で、辛かった。（MtX、性的指向は男性・30代・岩手県）

バレンタインでチョコを男子に渡すという恋愛イベントをみんなは楽しんでいて、自分も参加するものだと思いついて参加していたが、苦痛だった。（FtX、アロマンティック / アセクシュアル・20代・熊本県）

学校の記念写真撮影の際に、たくさんの人の前でフォトグラファーの方に「女性らしいポーズ（手を重ねて、足をぴったりとくっつける）をとるように」と、何度も指示され、体が固まってしまいました。誰かが「今の時代は色々ありますからね」とフォローを入れてくれたけど、周りの人が一気に笑い始めてとても辛かった。記念写真に映っても大丈夫な姿勢であれば、性別規範に沿ったものでなくても良いということにしていただけとありがたいです。（FtX、バイセクシュアル・10代・千葉県）



先生たちの実践

体育祭は男女混合種目にしています。（京都府・中学校）

体育祭で性別により走る距離を統一した。また、文化祭の前に先生方に「異性装」に関する考え方を示し、出し物で排他的なものがないようにしています。（大阪府・中学校）

卒業式も入場や座席順、呼名順は混合名簿順としました。（千葉県・中学校）

式典での呼び掛けを、「ぼくたち・わたしたち」とわけずに、「わたしたち」で統一しています。（福岡県・小学校）

卒業式の胸花の色を、男女別からクラスごとの色分けに変えました。（東京都・中学校）

合唱コンクールは、性別によらず希望するパートで参加できるようにしています。（千葉県・中学校）

体育祭で男女混合種目も用意し、選べるようにしています。また、男子は応援団、女子はチアという分け方をやめる等の工夫をしました。（神奈川県・高校）

今日からできること

- ☑ 行事に関する相談ができることを伝える。相談があったらできる限り希望に添えるように対応する。
- ☑ 文化祭・体育祭等の行事で、LGBTQ に関する排他的な出し物等がないように、周知する。
- ☑ 体育祭等で、不要な性別わけがないか点検する。また、性別によらず応援団やチアを選べるようにしたり、参加できる種目を用意する。
- ☑ 合唱コンクールは性別によらず希望するパートで参加できるようにする。
- ☑ 式典は性別わけではなく、混合名簿順とする。
- ☑ 式典での呼びかけは「わたしたち」にする。また、胸花や記念品等を性別でわけない。



7) 宿泊を伴う行事（合宿、修学旅行等）



宿泊を伴う行事では、部屋や風呂などが性別で分けられることが多く、特に集団での入浴はプライバシーが確保されにくいと、LGBTQに限らずさまざまな児童生徒が困難や心配が生じやすいです。そのため、事前に部屋割りや入浴の対応について配慮が必要な場合は、理由を伝えずとも調整が可能であることを周知することが大切です。

特に海外へ行く場合は、LGBTQ が法律で処罰の対象となる国もあるため、安全な国や地域を選ぶことが重要です。また、パスポートや航空券などで法律上の名前や性別が明示される場面が国内旅行よりも多いため、安心して相談できる環境を整えることがより一層求められます。



LGBTQ の子ども若者たちの声

学習合宿などといった宿泊を伴う時に、入浴が大浴場となっていて、やむなく合宿を休むことにした。(MtX、パンセクシュアル・10代・宮城県)

修学旅行で、他の同級生と一緒に風呂に入らないといけないと、一年以上前から思い悩んでいた。意を決してお風呂に入った際、ある同級生に「ほんとに男性器がついてるのか」と浴槽で股間を触られた。(MtX、性的指向は男性・30代・岩手県)

修学旅行など泊まりのイベントがあると必ず“恋バナ”になり、自分も好きな人を言わなくてはいけない雰囲気があって、その場にあってはしゃがなかつたことが辛かった。(出生時の性別は女性、クエスチョニング、アロマンティック / アセクシュアル・10代・東京都)

修学旅行のとき、クラスメイトの女の子たちと風呂に入らなければならない、自分の裸（女性の体）を見られるのが苦痛で、体を隠すためのタオルを外さないうまま風呂に入り、先生に怒られた。(FtX、性的指向は女性・20代・千葉県)



先生たちの実践

性別に関係なく、個別の入浴を希望した児童には、希望通りにしています。(長崎県・小学校)

大浴場のある宿泊施設を避け、全員部屋のシャワーでの個室入浴としました。(静岡県・中学校)

部屋割りや入浴について相談したい場合、だれに相談できるか事前に示しました。また、児童生徒向けの事前指導の中で、プライバシーの尊重についても伝えました。(千葉県・小学校)

宿泊行事の前には、必ず性の多様性に関する学級指導をしている。(石川県・小学校)

宿泊学習では全員一人部屋になるようにしています。(福島県・中学校)

今日からできること

- ☑ 宿泊行事に関する相談ができることを伝える。相談があったらできる限り希望に添えるように対応する。
- ☑ 誰でもあっても理由を伝えず、個室シャワーや時間をずらした入浴ができるようにし、全体に周知する。もしくは、全員が個別入浴できるようにする。
- ☑ 誰でもあっても理由を伝えず、個室に宿泊できるようにし、全体に周知する。もしくは、全員が個室に宿泊できるようにする。
- ☑ 海外に行く場合は、LGBTQ にとっても安全な国・地域を旅先にする。また、パスポートや航空券などの手続きで配慮が必要な場合、事前に申し出ができることを伝える。



8) トイレ



特にトランスジェンダーの児童生徒にとって、性自認と異なるトイレを利用することは大きな苦痛となりえます。実際に、10代のトランスジェンダーの22%が学校や職場ではトイレを我慢すると回答し、トランスジェンダーの4人に1人が膀胱炎などの排泄障がいを経験するという深刻な状況となっています^{*1}。

また、小便器についたてがないことは、トランスジェンダーに限らず、使用する人たちのプライバシーが確保されにくい状況につながります。さらに、学校は災害時に避難所として利用されることも多いため、その観点からも多目的トイレを十分に確保することが重要です。誰もが安心してトイレを利用できる環境を整えるために、どのような工夫ができるかを考えてみましょう。



LGBTQの子ども若者たちの声

学校生活で困ったことは、トイレと体育の授業の着替えです。学校の先生に、トイレの使用や着替え場所について相談ができていません。(トランスジェンダー男性、パンセクシュアル・10代・栃木県)

トイレや体育の授業の着替え問題。自認する性別とは異なる方に入ると違和感があるし、学校には多目的トイレが用意されていないので心苦しかった。(トランスジェンダー女性、ヘテロセクシュアル・20代・東京都)

男子トイレに入れず一日中我慢していた。小学4年か5年の頃に一度漏らしてしまったことがある。どうしても我慢できないときは、授業中に離席するか保健室に逃げ込んでいた。(MtX、性的指向は男性・30代・岩手県)

どうしても我慢できないときは、授業中に「トイレ行きます」と離席し、人気のないトイレに走っていた。でも遠いから時間がかかり、授業をサボるなと先生に怒られたこともある。(トランスジェンダー男性、パンセクシュアル・30代・東京都)

^{*1}：性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査2015（LIXIL、虹色ダイバーシティ）



先生たちの実践

授業中や給食の準備時間等も必要ならトイレに行ってもよいと伝えています。(大阪府・小学校)

多目的トイレを増設、また男子トイレを改装し完全個室にしました。(千葉県・高校)

多目的トイレは、誰でも使用できることを生徒に周知しました。(熊本県・中学校)

多目的トイレに誰でも使える旨のポスターを貼っています。(千葉県・高校)

男子トイレの小便器に、全てついたてをつけました。(都道府県未回答・特別支援学級)

トイレの表示の色を女子が赤・男子が青ではなく、黒に統一しました。(三重県・中学校)

男子トイレにもサンタリーボックスを設置するように、県から通知がありました。(大分県・高校)

教室フロアのトイレが利用しにくい場合、教職員用トイレを使用できるようにしました。(千葉県・中学校)

— 今日からできること —

- ☒ トイレは必要とときに行っていいことを周知する。
- ☒ トイレに関する相談ができることを伝える。相談があったらできる限り希望に添えるように対応する。
- ☒ 教職員用トイレや多目的トイレを開放し、誰でも使いやすいよう周知する。
- ☒ スリッパや備品等を男女で色わけしない。
- ☒ 男子トイレにもサンタリーボックスを設置する。
- ☒ 小便器についたてをつけてプライバシーに配慮する。
- ☒ 男子トイレも完全個室にする。
- ☒ 多目的トイレを増築する。



9) 健康診断



健康診断は性別ごとにわけられることが多い一方で、性別ごとにわけられたなかではプライバシーが十分に確保されていないこともあり、困りごとが生じやすいです。また、特に男子生徒は上半身裸で整列や待機をさせられるなどの場面もあり、苦痛を感じる人もいます。すべての児童生徒が安心して受診できるよう、一人ひとりのプライバシーを守る運営方法を検討することが重要です。

文部科学省が2024年に発出した通知「児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について」では、「特に配慮が必要な児童生徒等については、検査・診察の時間や場所を工夫するなど、個別の対応を行う。」と記載され、プライバシーや心情に配慮した健康診断の実施のための環境整備が求められています。



LGBTQ の子ども若者たちの声

健康診断のとき、男子は上半身裸で廊下に並ばされるのが嫌だと先生に言ったら「男らしくしろ」と一喝された。(ゲイ・30代・東京都)

健康診断の時、「女の子だから女の先生でお願いします」と言われた。勝手に性別を決めつけられて辛かった。(FtX、アロマンティック / アセクシュアル・10代・福井県)

健康診断が男女別で、性自認と異なる性別で受けなければいけないことが辛かった(トランスジェンダー男性、パンセクシュアル・20代・神奈川県)

健康診断で服を脱ぐのが苦痛だった。(FtX・20代・埼玉県)



先生たちの実践

身体測定は男女混合で体操服着用のまま実施しています。内科検診は、ついたての中で着衣のまま上着を持ち上げ検診しています。(大阪府・小学校)

内科検診は、性別に関わらず、上半身裸にならなくても良いように、養護教諭と医師との打ち合わせをお願いしています。(新潟県・高校)

プライバシーを配慮した男女わけのない健康診断を実施しています。(鹿児島県・小学校)

内科検診の際に、男女とも中に1枚薄手のものを着てよいことにしました。(愛知県・中学校)

身体測定について事前に相談したい場合は、相談できる人を伝えました。また、身体測定や健康診断は、男女別の時間帯の他、希望者が個別で受けられる時間帯も用意しています。(石川県・特別支援学校)

今日からできること

- ☑ 健康診断に関する相談ができることを伝える。相談があったらできる限り希望望に添えるように対応する。
- ☑ 希望者は個別で受けられるよう配慮し、全体に周知する。
- ☑ 男子生徒も着衣のまま整列できるようにしたり、露出する場所はいったてを用意する等、どの性別であっても露出を控えるように配慮する。
- ☑ 性別でわけの必要がない健診は、プライバシーを配慮しながら性別でわけずに行うことを検討する。



10) キャリア教育・進路指導



キャリア教育や進路指導は、服装やマナーが性別でわかれやすく、特にトランスジェンダーの生徒にとって困難が生じやすいです。また、将来やキャリアを考える際に、誰もが結婚や子育てをすることを前提とし、多様な家族のかたちを想定しないことは、LGBTQ の子どもたちや多様な家族や環境のもとで育つ子どもたちにとって、自身を否定されたように感じることに繋がります。すべての子どもが自身の人生に多様な選択肢を持てるよう、多様なライフプランや家族のかたちを包摂したキャリア教育や進路指導が大切です。



LGBTQ の子ども若者たちの声

将来男性と結婚することや、そもそも結婚をすることを前提に進路のことを話されるのが嫌だった。(出生時の性別は女性、クエスチョニング、性的指向は決めていない・10代・岐阜県)

自分の将来を考える授業で、「結婚したくない」と言ったが、結婚する前提で計画を考えるよう指導されて、辛かった。(性的指向は決めていない・20代・広島県)

制服が辛すぎて、私服校という理由で進学先を決めた。先生や親から志望理由を聞かれる度に嘘をつくのも辛かったし、ほんとはもっと選択肢がほしかった。(トランスジェンダー男性・30代・東京都)

身近にLGBTQ のロールモデルの姿が見えず、どうせ大人になれないと思っていたから、進学や就職を考えることができなかった。本当は相談したかった。(トランスジェンダー男性、パンセクシュアル・30代・東京都)

就職活動の時、女性用スーツの着用や性別記入欄が苦痛だった。異性愛を前提とした質問もあり、煩わしかった。(FtX、性的指向は女性・20代・東京都)



先生たちの実践

進路指導時に「先輩の進路」を男女別に紹介するのをやめました。また、面接時のマナーについて、男女共通で伝えるようにしています。就職先の設備や制度について、生徒が特定されない選考前の段階で、学校から企業に確認をしました。(神奈川県・高校)

面接時の服装指導やマナーでの「男子」「女子」の表記をやめ、男女共通で伝えるようにしました。(大阪府・中学校)

今日からできること

- ✓ 進学や就職等に関して相談ができることを伝える。相談があったら希望に添えるように対応する。
- ✓ キャリア教育の進路指導で使用する資料等のなかで、多様なライフプランや家族のかたちを想定していない表記や、不要な男女わけ等がないか点検する。
- ✓ 面接や服装指導の際に、不要な男女わけをなくす。
- ✓ 学区の進学先の学校や地域の企業等でのLGBTQに関する取り組みを集めて情報として周知する。

調べてみよう

■ LGBTER (エルジービーター)

たくさんのLGBTQへのインタビュー記事があるサイトです。LGBTQの多様なロールモデルを知るために、活用できます。
<https://lgbter.jp>

■ 一般社団法人 work with Pride

企業のLGBTQの取り組みを評価・表彰する民間指標「PRIDE指標」を運営しています。サイトや報告書に、企業のLGBTQの取り組みが多数掲載されています。
<https://workwithpride.jp>



11) 入学前・卒業後の対応



LGBTQ を包摂した対応は、入学前から卒業後まで一貫して重要です。入学前に LGBTQ に関する取り組みが十分に周知されていなかったり、事前相談の機会が設けられていなかったりすると、安全に過ごせる学校を選ばず、進学を諦めてしまうこともあります。

また、法律上の名前や性別を変更した人が、変更後の情報で卒業証明書などの書類を発行できる体制の構築も大切です。適切な対応がなされないと、進学や転職のたびに、本人の意図しない形でトランスジェンダーであることが学校や職場に知られてしまうことにつながります。改訂版「生徒指導提要」（2022 年 12 月、文部科学省）にも「卒業後に法に基づく戸籍上の性別の変更などを行った者から卒業証明書などの発行を求められた場合は、戸籍を確認した上で、当該者が不利益を被らないよう適切に対応します。」と記載されています。

在学中はもちろん、入学前や卒業後の対応も包摂的にしていくことが大切です。



LGBTQ の子ども若者たちの声

大学共通テストの申し込みで、当てはまる性別に丸をつけるところで、選べる性別が男女の 2 択しかなくて困った。(FtX・10 代・秋田県)

法律上の名前も性別も変更していますが、転職の際に会社に卒業証明を提出する必要が生じ卒業校に問い合わせたところ、変更前の名前・性別でしか卒業証明が出せないと言われた。そのことで、転職先の企業にトランスジェンダーであることをカミングアウトせざるをえない状況になった。(トランスジェンダー男性・30 代・東京都)

高校入試の時、中学校の先生から入試当日に使えるだれでもトイレがあるかを問い合わせてもらったところ、「トランスジェンダーの生徒が受験するということですか？特別対応になるので、該当の生徒を教えてください。」と言われた。個人情報なので難しいと交渉してもらったが、受験以前にハードルがあって辛かった。(トランスジェンダー女性・20 代・新潟県)



先生たちの実践

入学願書の性別欄の記入は必須ではないことを周知しています。(千葉県・中学校)

入学前に希望者に対し個別相談を行い、SOGI に関する相談・支援も可能だとお知らせしています。入学試験時の服装は制服でなくて良いことにしました。生徒の希望する就職先に対し施設・支援体制・制度について採用選考前に個人情報保護した上で学校が企業に対し確認をしています。(千葉県・高校)

今日からできること

- ☑【入学前】入学前の説明会や資料等で、LGBTQ に関する取り組みを伝え、必要に応じて入学前でも相談ができることを周知する。
- ☑【入学前】願書や入学試験の性別欄をなくす。また、受験や面接の際に、学校制服でなくてもよいことや通称名を使用できることを周知する。
- ☑【卒業後】法律上の名前・性別を変更した卒業生への卒業証明等の書類を、変更後の名前・性別で出せるようにする。



3. LGBTQ/SOGIE も安心な学校環境と風土づくりのために

多様な性について理解を促進するとともに、LGBTQ/SOGIE インクルーシブな風土醸成を行うことは、安心安全な学校・学級づくりのために大切です。以下 6 つのステップで取り組んでみましょう。

1) 先生が学ぶ

LGBTQ について、まず先生が学ぶことが大切です。先生がひとりで学ぶことはもちろん、教職員研修等を通じ、全ての先生たちが学ぶ機会が定期的にあることが重要です。また、先生が LGBTQ について学んでいることを、児童生徒たちに伝えることも、相談しやすい環境づくりにつながります。

今日からできること

■ 教職員向け e ラーニング研修で学ぶ

このハンドブックが入ってる資料キット「Ally Teacher's Tool Kit: 安心な学校をつくろう編」には、教職員向け e ラーニング動画、ワークシートや研修計画書等の資料が同封されています。先生が一人で学んだり、教職員研修で他の先生たちと学ぶために活用できます。

<https://rebitlgbt.org/project/kyozai/teacher>



■ 教職員向け情報サイトで学ぶ

「Ally Teacher's School」は、先生のための LGBTQ に関するオンライン情報センターです。対象や用途にあわせた教材検索や、先生たちの実践インタビュー、相談先一覧等さまざまな情報を得ることができます。

<https://allyteachers.org>



■ オンライン勉強会に参加する

このハンドブックを製作した認定 NPO 法人 ReBit は、教職員向けの無料・オンラインの勉強会や相談会を定期的の実施しています。開催時は団体サイトで告知します。

<https://rebitlgbt.org>



2) 学校の取り組みを教職員間で検討・実施する



LGBTQ/SOGIE を包摂した学校づくりに向け、具体的な取り組みや相談対応について教職員間で検討し、計画を立てたうえで実践し、振り返りながら継続的に改善を重ねることが、より良い環境づくりにつながります。

今日からできること

■ 学校で取り組むアクションを決める

LGBTQ/SOGIE を包摂した学校づくりのためにどのような取り組みをするか、教職員間で話し合いをしましょう。学年や学校全体で取り組みを決め、学期ごとなど定期的に進捗を確認しましょう。取り組みを考える際に、本キットに含まれている「LGBTQ/SOGIE インクルーシブな学校・学級づくりアクションシート」を活用することができます。

■ 児童生徒からの相談や、いじめがあった場合の対応について事前に検討する

本キットに含まれている「LGBTQ/SOGIE に関する相談対応ハンドブック」を活用し、LGBTQ に関して児童生徒から相談があった場合や、LGBTQ に関する揶揄やいじめがあった場合の対応について、教職員間で事前に検討しましょう。

ハンドブックに含まれているケースを教職員で検討し、実際にこのような場面が学校で起こった際に、教職員対応チームには誰が入るのか、対応フローはどのようにするのか、教育委員会と連携する場合の窓口はどこか、他に連携できる外部資源があるか等を話し合ってください。

アクションシートとハンドブックは、以下から無料でダウンロードできます。

<https://rebitlgbt.org/teacher/>



また、本資料を制作している認定 NPO 法人 ReBit では、学校ごとの個別相談や伴走支援を実施しています（対応可能な学校数には上限があります）。

学校の取り組みに悩んだ際や、児童・生徒からの相談があった場合など、お気軽にお問い合わせください。

<https://rebitlgbt.org/contact/>



3) 本や掲示物・配布物で情報を提供する



学級図書や図書室、保健室等に LGBTQ についての本を置いたり、校内で LGBTQ に関するポスターを掲示することで、日常的に子どもたちに情報提供ができます。また、自治体が LGBTQ の啓発リーフレット等を制作していることも多く、それらを配布することも有効です。ぜひ貴校の管轄の教育委員会や自治体等に問い合わせてみてください。なお、先生が本を置いたり、掲示物やシールを貼ることで、先生が LGBTQ のアライ（理解者）であることがわかり、相談しやすい環境づくりにもつながります。

今日からできること

■ ポスター / マグネット / ステッカーを貼る

このハンドブックが入っている資材キット「Ally Teacher's Tool Kit：安心な学校をつくろう編」のなかに、ポスターとステッカーが同封されています。

ステッカーはノートやファイルに貼ることで、先生がアライであることを示すことができます。

ポスターは掲示板、マグネットは黒板等に貼ることで、LGBTQ にとっても安心な学級・学校であることを伝えることができます。先生のアライとしての宣言や、相談できる場所の情報提供等、自由に記入ください。

例：・〇〇先生は、LGBTQ についてみんなと
いっしょに学び続けます。
・相談したい・話したいことがあるときは
〇〇先生や、保健室、カウンセリング室
で待っています。



■ 本を置く

LGBTQ に関する本を、対象年代ごとにまとめたブックリストがあります。図書室や学校図書におく本を選書する際に活用できます。「Ally Teacher's Tool Kit：小学校高学年で授業しよう編」からダウンロードください。

<https://rebitlgbt.org/shougakko/>



4) 日々の授業やお便りで取り上げる



日々の授業の中で、多様な性について取り上げることができます。また、学級通信や保健便りなどで LGBTQ に関する話題を取り入れることも大切です。こうした継続的な情報発信を通じて、理解を深め、誰もが安心して過ごせる環境づくりにつなげることができます。

今日からできること

■ ホームルーム

- LGBTQ のニュースや、地域のイベント（プライドパレード等）を紹介する。
- LGBTQ の国際的な記念日を紹介する。

5月 国際反ホモフォビア、バイフォビア&トランスフォビアデー（17日）
6月 プライド月間
10月 カミングアウトデー（11日）、Spirit Day（第3木曜日）
11月 トランスジェンダー追悼の日（20日）
12月 世界エイズデー（1日）、人権週間（4日～10日）、
人権デー（10日）

■ 英語

- ジェンダーニュートラルな代名詞（they/ze/xe 等）について紹介する。
- 英語の曲を紹介する際、LGBTQ をテーマにした曲も紹介する。
- 英語の教材として、LGBTQ をテーマにした映像をみる。

例：NHK の「ファースト・デイ わたしはハナ」はトランスジェンダー女性の小学生が主人公のドラマです。学校では無料で使え、英語学習での実践授業や配布資料もオンラインで見られます。

■ 国語・家庭科

- 家族について取り扱うときに、「お父さん2人の家や、お母さん2人の家もあるよね」等、多様な家族があることを伝えたり、多様な家族が示されている教材をつかったりする。

■ 社会

- パートナーシップ条例や同性婚等、国内外での LGBTQ に関する取り組みを紹介する。

5) 授業やホームルーム等で、多様な性について教える



道徳や保健体育、ホームルーム等で多様な性をテーマに授業をすることもできます。2024年度からは小学校保健体育の全ての教科書に、2025年度からは中学校道徳の全ての教科書に、LGBTQ や多様な性についての記載がされるため、単元に沿って実施することもできます。

また、行政やNPO 法人等が製作している動画教材やワークシート等を活用することもできます。

今日からできること

■ 自治体・教育委員会による指導案・実践事例集を活用する

LGBTQ に関する指導案や実践事例集等を制作している教育委員会も多くあります。貴校の管轄の教育委員会や自治体等に問い合わせてみましょう。

なお、一部の自治体の取り組みを以下の記事にまとめています。

<https://allyteachers.org/?p=1487>



■ 授業実践のための教材キットを活用する

Ally Teacher's Tool Kit には、先生が授業をすることを応援する「授業しよう編」もあります。小学校高学年向けと中学校向けの2種があり、いずれも、学習指導案、動画教材、ワークシートや配布資料等の10種を超える教材が含まれています。

以下サイトから、無料でダウンロードや郵送依頼ができます。

小学校高学年版：

<https://rebitlgbt.org/project/kyozai/shougakko>



中学校版：

<https://rebitlgbt.org/project/kyozai/chugakko>



6) 児童生徒たちといっしょに風土をつくる



LGBTQ/SOGIEが包摂された学校・学級を実現するためには、先生や児童生徒が共にインクルーシブ（包摂的）な風土を築いていくことが大切です。日頃から、不要な性別わけをしない、異性愛を前提としない、多様な性や人権について日常的に話すなど、できることはたくさんあります。

今日からできること

- 生徒同士や先生の声かけの中で、不要な性別わけがあったり、誰もが異性愛であることを前提とする発言があった場合は、「こういうわけ方もできるのでは？」と提案したり、「誰もが異性を好きになるわけではないよね」と補足する。
- LGBTQ が笑いのネタになっている場面を見かけたら、見過ごさずに注意する。（『LGBTQ/SOGIE 相談対応ハンドブック』P28 参照）
- クラスで「男子／女子」にわかれて遊ぶことを当たり前とせず、「男子だから女子と遊ぶのはおかしい」「女子だから男子と遊んではいけない」といった風潮にしない。
- 特にバレンタインや修学旅行など、異性愛を前提とした会話が生じやすいタイミングでは、多様な性について取り上げる。

例：バレンタインデーの風習は国によって異なり、好きな人にプレゼントを渡す国もあれば、友人や家族に贈る国もあります。日本でも、好きな人に限らず、友達・家族・自分自身等に贈るものいいですし、誰にも贈らなくてもいいですね。

- 同性同士であっても、相手の体を許可なく見たり触ったりしてはいけないことを伝える。これはLGBTQに限らず、すべての児童生徒にとって大切なことです。例えば、「女子同士でふざけて胸を触り合う流れになって、嫌だった」「男子同士でカンチョーをしあうことが流行って、辛かった」といった声もあります。どんな場面でも、相手の同意なくプライベートゾーンを見ない・触らないことが大切だと伝えることで、LGBTQ を含むすべての子どもたちの安心と人権を守ることもつながります。



4. 認定 NPO 法人 ReBit ができること

制作者・認定 NPO 法人 ReBit とは？

ReBit（りびっと）は、LGBTQ もありのままで未来を選択できる社会を目指す、認定 NPO 法人です（設立 2009 年、法人化 2014 年。所在・東京都 / 大阪府）。

LGBTQ も自分らしく「学ぶ・働く・暮らす」ための事業に取り組んでいます。

■ 1. 学ぶ：教育事業

LGBTQ を含めた子どもたちが尊重しあえる学校を増やすため、学校 / 行政で LGBTQ 研修の提供（1800 回 / 18 万人）や、行政や教科書会社と協働し教材制作や監修を行う（5.4 万部 / 14 万回再生）



■ 2. 働く：キャリア事業

LGBTQ も自分らしく働ける社会に向け、キャリア支援（1.2 万人）や、企業研修 / コンサル（500 社 / 6.3 万人）、国内最大級のダイバーシティに関するキャリアフォーラムを開催（厚生労働省・文部科学省の後援、約 70 社が出席）



■ 3. 暮らす：福祉事業

LGBTQ も安心して福祉を利用できる社会に向け、LGBTQ フレンドリーな就労移行支援事業所（障害福祉サービス）を東京・大阪で運営。精神障害や発達障害がある LGBTQ のキャリア支援を行う。



■ 4. 暮らす：まちづくり事業

LGBTQ も安心して暮らせるまちづくりのために、行政の LGBTQ やダイバーシティ施策の伴走や、行政職員への研修等を行う（200 自治体）

※ 2023 年度末時点の実績

御校の取り組みに、ReBit がお手伝いできること



ReBit は学校でご活用いただける様々な無料資料をご用意しています。

■ 1. 先生が学んで、相談体制の構築や環境調整を進めたい

本ハンドブックが含まれている「Ally Teacher's Tool Kit：安心な学校をつくろう編」では、教職員向け e ラーニング動画や資料や、LGBTQ インクルーシブな学校・学級づくりのための実践集（本書）、LGBTQ に関する相談やいじめ防止のためのケース検討集、ポスターやステッカーなど、先生が学んで、相談対応や環境調整を行う上での資料がパッケージとなっています。

なお、本資料は無料でダウンロードもしくは郵送依頼をして、すぐに実践にご活用いただけます

▶ダウンロード・郵送依頼：<https://rebitlgbt.org/teacher/>



■ 2. 学校の取り組みについて相談したい

学校の取り組みに悩んだ際や、児童生徒からの相談があった場合等に、学校ごとの個別相談や伴走支援を実施しています（対応可能な学校数には上限があります）。お気軽にお問い合わせください。

▶お問い合わせ：<https://rebitlgbt.org/contact/>

■ 3. 先生が授業をしたい

Ally Teacher's Tool Kit には、先生が授業をすることを応援する「授業しよう編」もあります。小学校高学年向けと中学校向けの 2 種があり、いずれも、学習指導案、動画教材、ワークシートや配布資料等の 10 種を超える教材が含まれています。以下サイトから、無料でダウンロードや郵送依頼ができます。

▶小学校高学年版 <https://rebitlgbt.org/shougakko/>

中学校版 <https://rebitlgbt.org/chugakko/>

■ 4. 講師に授業や研修をしてほしい

ReBit は、学校・教育委員会等で、LGBTQ に関する授業や研修をのべ 1800 回実施してきました。小学生～大学生、教職員 / 教育委員会職員のみならずなど、幅広く授業 / 研修を実施することができます。

▶授業 / 研修依頼：<https://rebitlgbt.org/contact/>

